



住んでよいまち・松戸をめざして

末松ひろと

のびゆく松戸 ポスティング・ボランティアのお願い

市内各駅にて「**のびゆく松戸**」をお渡ししていますが、お渡しできる方は限られています。

より多くの方々にお届けできるよう、ご自宅の周辺などに「**のびゆく松戸**」をポスティングして下さる方のご協力をお願いしています。

ポスティングにご協力いただける場合には、下記「事務所」宛にお電話、FAX、メールにてお知らせいただけましたら幸いです。

末松ひろと

プロフィール

学歴職歴

松戸市議会議員
聖徳大学附属幼稚園
松戸市立柿ノ木台小学校
松戸市立第二中学校
千葉県立国府台高等学校
慶應義塾大学法学部政治学科
株式会社熊谷組
千葉商科大学大学院・客員教員
保護司(松戸地区保護司会)

その他の経歴

第59代松戸市議会議長
松戸市監査委員
議会活性化委員会委員長
議員定数等協議会委員長
公共施設再編特別委員会委員長
松戸市環境審議会委員
松戸市都市計画審議会委員
松戸市青少年問題協議会委員
千葉県薬物乱用防止指導員

末松ひろと事務所 〒271-0087 松戸市三矢小台5-24-4
TEL/FAX 047-366-6605 E-mail suematsu-hiroto@nifty.com

令和7年度に臨む

先の定例市議会において「市政の運営方針」や「予算の使い方」について議論を重ね、そこで決定（議決）された内容に従って4月から新年度のまちづくりが進められます。

そこで本号ではその概要を報告いたします。

令和7年度予算に見る本市の課題について

本市の運営に関わる年間予算額は約**1,950億円**となります。これを収入と支出の両面から考えてみたいと思います。

…予算を**収入面（歳入）**から見ると…

行政サービスの財源をどう調達しているかですが、1,950億円の内、市民が市に納める**市税は約762億円（39%）**となっています。これに加えて施設の使用料収入等を含めると、**市が自前で調達しているお金（自主財源）は約800億円**で年間予算額の約4割となっています。残りは、国・県からの補助金や交付金、それと借金（市債）で調達しています。

収入面での課題はいかに自主財源を増やすか、すなわち市の**年収を上げるか**ということになりますが、実際には国から交付金としてこの不足分が支給されているため、本市でも他市並みの行政サービスを維持することができています。

しかしながらこの交付金は依存財源、すなわち国次第となり行政活動の自主性と安定性が確保されていない、さらに今日的には不足する分を借金で賄っていますので、将来世代の負担で今のサービスを維持しているとも考えられます。

財源あつてのサービスという原則を常に考えながら、予算のあり方を慎重に判断し、決定しています。

…予算を**支出面（歳出）**から見ると…

次に**これらの財源を何に使っているか**ですが、1,950億円の内、民生費（子育て、高齢者、障がい者支援など）が975億円（50%強）となり、続いて教育費（施設整備費など）が262億円、総務費（市役所などの管理経費）が164億円、土木費（インフラ整備費）が157億円、衛生費（ごみ処理費など）が151億円、公債費（過去の借金返済費用）が147億円、消防費が69億円となっています。

これらをもう少し身近に捉え直してみると次の通りです。

市民一人当たりが諸サービスに支払っている年間予算額

1. 民生費	195,000円	5. 衛生費	30,000円
2. 教育費	52,000円	6. 公債費	29,000円
3. 総務費	33,000円	7. 消防費	14,000円
4. 土木費	31,000円		

支出面での課題は、限られた財源を用いて、何に優先して取り組むべきか（事業の優先順位）になります。福祉関連のサービス拡充に伴い増大する民生費、一方で将来に向けた教育環境の整備や、年収を上げるためのまちづくりへの投資など、全てやりたいが、限られた財源で全てをやることができない状況においてどう将来への道筋をつけていくか、市民の理解を得て責任を共有しながら市政運営を行わなければなりません。

もちろん無駄な支出の削減は不断に取り組んでいかなければならないと考えます。

今年度も議会の場を通して議論を重ね、慎重に判断しながら市政の場での責任を果たしてまいります。

詳しくは松戸市ホームページにて

